

社会福祉法人十日町福祉会  
令和2年度 喀痰吸引等研修（第一号研修・第二号研修）  
募集要項

1 目的

特別養護老人ホーム等の施設及び居宅において、必要なケアをより安全に提供するため、社会福祉士及び介護福祉士法施行規則（昭和62年厚生省令第49号。以下「施行規則」という。）附則第4条に基づく研修（第一号研修・第二号研修）を実施し、適切にたん吸引等を行うことのできる介護職員等を養成することを目的としています。

2 実施主体

社会福祉法人十日町福祉会

3 研修内容

実地研修

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、基本研修（講義・演習）は実施しません。

4 受講対象者

次の要件を全て満たす方とします。

- (1) 介護福祉士実務者研修の医療的ケア（50時間）の「高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説」「高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順解説」を共に含む科目をスクーリング（対面授業）で受講し修了した方。または、介護福祉士養成施設等で医療的ケア（基本研修講義・演習）の科目を受講し修了した方。
- (2) 新潟県に住所があり、県内の高齢者・障害者の施設・事業所等に勤務している介護職員等であること。
- (3) 所属施設・事業所に、喀痰吸引等が必要な利用者が入所していること。（居宅系サービスの場合は、連携する訪問看護事業所にたん吸引等が必要な利用者がいること。）
- (4) 喀痰吸引等指導者講習を修了した指導看護師が実地研修を実施する施設・事業所に所属していること。
- (5) 原則として受講者が所属する施設・事業所又は利用者宅において、実地研修を行うことができること。

5 研修会場及び日程

一定の要件を満たした実地研修機関（原則として受講者の所属施設等）において、委託契約の締結後から令和3年8月30日までに実施していただきます。

実地研修機関選定基準は次の通りです。

- ア 国又は県の指導者講習を修了し、実地研修を指導することのできる医師又は看護職員（看護師、保健師及び助産師）との連携及び役割分担による的確な医学管理及び安全管理体制が確保できること。
- イ 当該管理体制の下、次の条件が担保されること。
  - ・書面による医師の指示を受け、実地研修を実施することができること。
  - ・利用者又は利用者本人からの同意を得るのが困難な場合には、その家族等（以下「実地研修協力者」という。）に対して研修の趣旨を説明した上で、実地研修への協力について書面による同意承認を受けることができること。
  - ・事故発生時の対応（関係者への報告、実地研修協力者家族への連絡など適切かつ必要な緊急措置及び事故対応等に係る記録及び保存等を含む。）について、体制を整備することができること。
  - ・実地研修協力者の秘密保持（関係者への周知徹底を含む。）等に関する規程を整備することができること。
- ウ 出席状況等、研修受講者に関する状況を確実に把握し、保存できること。

## 6 受講定員

20人

※ 定員を超える場合

喀痰吸引及び経管栄養の利用者の多い施設からの申込者を優先し、実地研修体制の確認と書類選考にて決定します。

## 7 募集期間

令和2年10月1日（木）から令和3年4月30日（金）まで随時受付。

## 8 受講料

9,200円（テキスト代 2,200円、損害賠償保険料 2,000円、事務手数料 5,000円）

※ 当研修の使用テキストと同品を所持している場合、テキスト代は徴収しません。申込時にお知らせください。

使用テキスト：「改訂 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養研修テキスト」中央法規出版

## 9 受講料の返還

受講料は、原則として返還しません。ただし、受講決定後、2週間以内にやむを得ない事情により受講を辞退した場合は、事務処理料と振込手数料を除いた受講料を返還します。

## 10 研修の一部免除

「社会福祉士及び介護福祉士法の一部を改正する法律の施行について」（平成23年11月11日社援発1111第1号）2の（4）、また、「喀痰吸引等研修（第一号・第二号研修）に係る研修の一部履修免除の取扱方針について」（平成25年8月1日付け高齢第512号）に基づき免除します。対象となる研修を修了している方は、受講申込書に研修修了証のコピーを添付してください。

## 11 申込書類

- ・ 受講申込書
- ・ 推薦状、推薦状別紙
- ・ 実地研修受け入れ承諾書（所属する事業所以外で実地研修を行う場合のみ提出）
- ・ 基本研修（講義・演習）の履修を証明する修了証書等の写し
- ・ 返信用封筒（84円切手貼付）

## 12 申し込み方法

上記の書類を施設・事業所ごとにとりまとめ、下記窓口まで郵送もしくはご持参ください。

住 所	〒948-0144 新潟県十日町市水口沢99番地 社会福祉法人十日町福祉会 企画課
受付時間	8時30分から17時30分まで

## 13 選考結果の通知とその後の手続き

申込者には、受講決定もしくは不決定の通知を郵便により送付します。

受講決定通知には「受講のてびき」を同封します。てびきに従って受講料を銀行振り込みによりご入金ください。振込時の控えを領収書に代えるものとします。

## 14 個人情報の取り扱い

ご提出いただいた個人情報は、この研修の運営のみに使用し、承諾なしに第三者に開示、提供することはありません。

【お問合せ】 社会福祉法人十日町福祉会  
総務部企画課（高橋・庭野）  
〒948-0144 十日町市水口沢 99 番地  
☎ 025-761-7340

[別表1] 基本研修（講義）カリキュラム（※令和2年度は実施しません）

大項目	中項目	時間
1 人間と社会	(1) 介護職員と医療的ケア	0.5
	(2) 介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度	1
2 保健医療制度とチーム医療	(1) 保健医療に関する制度	1
	(2) 医療的行為に関係する法律	0.5
	(3) チーム医療と介護職員との連携	0.5
3 安全な療養生活	(1) 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施	2
	(2) 救急蘇生法	2
4 清潔保持と感染予防	(1) 感染予防	0.5
	(2) 職員の感染予防	0.5
	(3) 療養環境の清潔、消毒法	0.5
	(4) 滅菌と消毒	1
5 健康状態の把握	(1) 身体・精神の健康	1
	(2) 健康状態を知る項目(バイタルサインなど)	1.5
	(3) 急変状態について	0.5
6 高齢者および障害児・者の 喀痰吸引概論	(1) 呼吸のしくみとはたらき	1.5
	(2) いつもと違う呼吸状態	1
	(3) 喀痰吸引とは	1
	(4) 人工呼吸器と吸引	2
	(5) こどもの吸引について	1
	(6) 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	0.5
	(7) 呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)	1
	(8) 喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認	1
	(9) 急変・事故発生時の対応と事前対策	2
7 高齢者および障害児・者の 喀痰吸引実施手順解説	(1) 喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	1
	(2) 吸引の技術と留意点	5
	(3) 喀痰吸引にともなうケア	1
	(4) 報告および記録	1
8 高齢者および障害児・者の 経管栄養概論	(1) 消化器のしくみとはたらき	1.5
	(2) 消化・吸収とよくある消化器の症状	1
	(3) 経管栄養とは	1
	(4) 注入する内容に関する知識	1
	(5) 経管栄養実施上の留意点	1
	(6) こどもの経管栄養について	1
	(7) 経管栄養に関係する感染と予防	1
	(8) 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	0.5
	(9) 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認	1
	(10) 急変・事故発生時の対応と事前対策	1
9 高齢者および障害児・者の 経管栄養実施手順解説	(1) 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	1
	(2) 経管栄養の技術と留意点	5
	(3) 経管栄養に必要なケア	1
	(4) 報告及び記録	1
	合計時間	50.0

[別表2] 基本研修（演習）カリキュラム （※令和2年度は実施しません）

行 為		実施回数
たんの吸引	口腔内吸引	5 回以上
	鼻腔内吸引	5 回以上
	気管カニューレ内部	5 回以上
経管栄養	胃ろう又は腸ろう	5 回以上
	経鼻経管栄養	5 回以上
救急蘇生法		1回以上

[別表3] 実地研修カリキュラム

○ 第一号研修

喀痰吸引及び経管栄養のすべて

行 為	実施回数
口腔内のたんの吸引	10 回以上
鼻腔内のたんの吸引	20 回以上
気管カニューレ内部のたんの吸引	20 回以上
胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	20 回以上
経鼻経管栄養	20 回以上

○ 第二号研修

各喀痰吸引等行為の個別研修

行 為	実施回数
口腔内のたんの吸引	10 回以上
鼻腔内のたんの吸引	20 回以上
気管カニューレ内部のたんの吸引	20 回以上
胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	20 回以上
経鼻経管栄養	20 回以上

[別表4] 受講料一覧

内 訳	一部免除	喀痰吸引関連研修	喀痰吸引等研修	特別養護老人ホームにおける14時間研修	介護福祉士実務者研修「医療的ケア」	
		未受講者	基本研修修了者	修了者	通信課程による修了者	実施手順解説の科目をスクーリングで受けた修了者
受講料		¥60,840	—	¥58,440	¥14,400	—
テキスト代		¥2,200	¥2,200	¥2,200	¥2,200	¥2,200
事務処理料		¥5,000	¥5,000	¥5,000	¥5,000	¥5,000
損害賠償保険料		¥2,000	¥2,000	¥2,000	¥2,000	¥2,000
合 計		¥70,040	¥9,200	¥67,640	¥23,600	¥9,200

※ /部分について、令和2年度は実施しません。

[別表5] 免除科目一覧

	科目・行為	時間回数	喀痰吸引等研修		14H研修	実務者研修		
			未受講者	基本研修修了者	修了者	通信	通学	
基本 研修 (講義)	1 人間と社会	1.5H	○	免除	○	免除	免除	
	2 保健医療制度とチーム医療	2H	○	免除	○	免除	免除	
	3 安全な療養生活	4H	○	免除	○	免除	免除	
	4 清潔保持と感染予防	2.5H	○	免除	○	免除	免除	
	5 健康状態の把握	3H	○	免除	○	免除	免除	
	6 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」概論	11H	○	免除	○	免除	免除	
	7 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」実施手順解説	8H	○	免除	○	○	免除	
	8 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論	10H	○	免除	○	免除	免除	
	9 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」実施手順解説	8H	○	免除	○	○	免除	
基本 研修 (演習)	たんの吸引	口腔内吸引	5回以上	○	免除	免除	免除	免除
		鼻腔内吸引	5回以上	○	免除	○	免除	免除
		気管カニューレ内部	5回以上	○	免除	○	免除	免除
	経管 栄養	胃ろう又は腸ろう	5回以上	○	免除	○	免除	免除
		経鼻経管栄養	5回以上	○	免除	○	免除	免除
		救急蘇生法	1回以上	○	免除	○	免除	免除
※ 実地 研修	口腔内のたんの吸引	10回以上	○	○	免除	○	○	
	鼻腔内のたんの吸引	20回以上	○	○	○	○	○	
	気管カニューレ内部のたんの吸引	20回以上	○	○	○	○	○	
	胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	20回以上	○	○	○	○	○	
	経鼻経管栄養	20回以上	○	○	○	○	○	

○の科目が受講科目です。

※ 第一号研修の実地研修は、全喀痰吸引等行為の研修となります。  
第二号研修の実地研修は、各喀痰吸引等行為の個別研修となります。

※ 特養における14時間研修を修了し、経過処置として一定の条件の下に喀痰吸引等を行っていた方で、基本研修を修了している方は「口腔の喀痰吸引」が免除となります。